

大分なつほのかの背景

大分県では、水稻栽培面積の75%を「ヒノヒカリ」が占めており(令和3年度時点)、次の問題がありました。



夏の高温による
「ヒノヒカリ」の品質低下



栽培する品種が偏っていること
で、病害虫や気象災害が発生した
場合に被害が大きくなりやすい



そこで、「ヒノヒカリ」より
暑さに強く、作期が異なる新品种
「なつほのか」を導入しました。

「なつほのか」は夏の高温に強く、令和4年から
大分県で本格的に栽培が始まったお米です。

父 にこまる

なつほのか

母 西南115号



ロゴマーク

シルエットは「大粒」を表現しており、
淡い色を使うことで、
「やさしい甘みとほのかな香り」を
イメージしています。

大分「なつほのか」をもっと
知りたい方は専用のHPへ!



大分県水田畑地化・集落営農課

TEL 097-506-3596

やさしい甘みと
ほのかな香り



新しい大分のお米



大分なつほのか



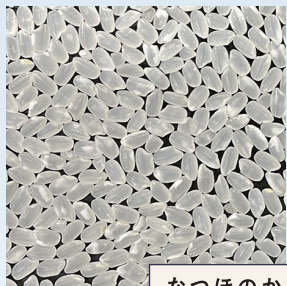
「なつほのか」っち
お米知っちょる？



POINT /

01 高品質

お米は穂が出た後に気温が高くなりすぎると、米粒が白く濁ってしまう「白未熟粒」が発生します。白未熟粒になると、見た目が悪くなるだけでなく、味も落ちてしまいます。ですが、「なつほのか」は暑さに強いので、きれいでおいしいお米になりやすいんです。



「なつほのか」は
米粒が透き通って
きれいだね！

POINT /

02 おいしい

甘みがあり、ふっくらモチモチとしたお米。冷めてもおいしく、おにぎりやお弁当にも最適です。大粒なので、食べ応えもあります！



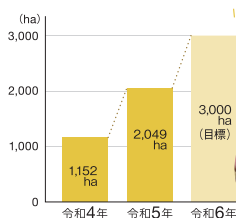
最高評価を獲得した味を
ぜひご賞味あれ！

特A
2年連続
獲得！



(一財)日本穀物検定協会が実施している「米の食味ランキング」で令和4、5年の2年連続で最高評価の「特A」(参考品種)を獲得しました。食味ランキングでは、香りや味、粘りなどが評価されます。

「なつほのか」栽培が本格的に始まった令和4年度は1,152haで栽培されました。令和5年度は2,049haまで拡大し、令和6年度は3,000haを目標に、自然豊かな大分県で栽培面積を増やしていきます！



大分県では、生産者・関係機関一体となって
美味しい米作りに
取り組んでいます！



なつほのか栽培研修会の様子